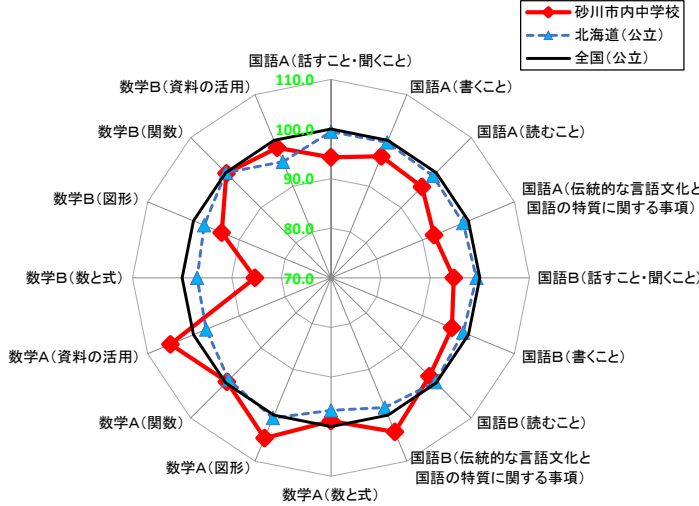


■砂川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:140人)

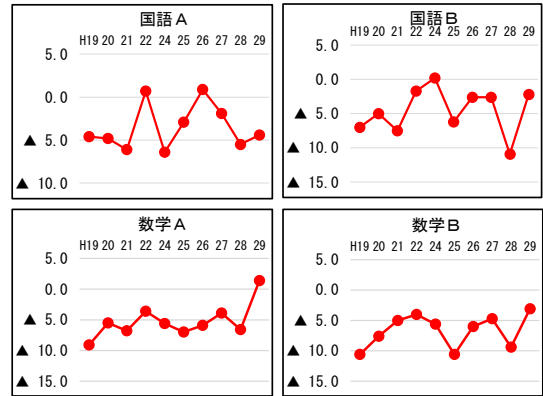
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

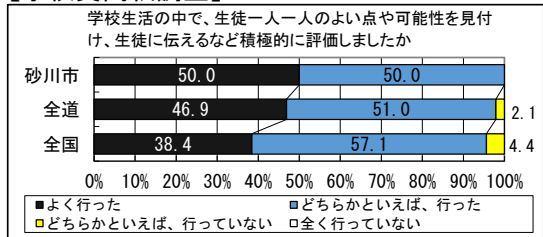


【平均正答率の全国との差の推移】

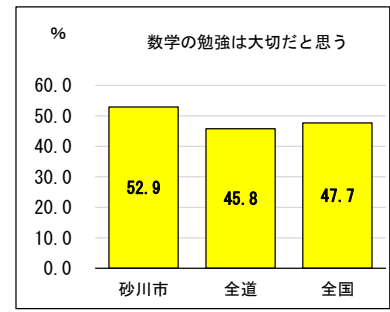
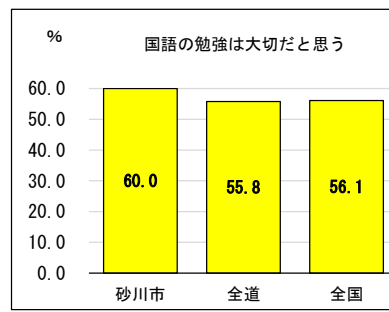
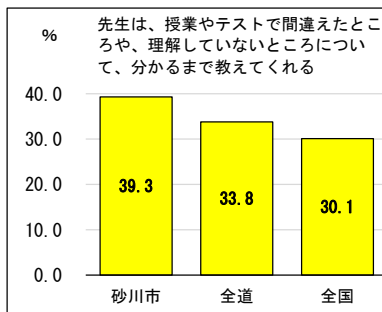


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|---|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは「図形」、「資料の活用」で全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に積極的に伝えたり、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えた結果、国語及び数学の勉強は大切だと思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見通す・振り返る」活動を位置付けた指導過程による授業を継続的に取り組んだ結果、数学Aで全国を上回り、国語A・B、数学Bで平均正答率の全国との差が縮まったと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校の生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

【砂川市の学力向上策】

- ◎ 「見通す・振り返る」活動を位置付けた指導過程による授業実践の継続
- ◎ 小・中学校に整備した校内LAN環境を活用したタブレット端末導入によるICT教育の充実
- ◎ 個別の指導計画等の活用や特別支援教育支援員配置による子ども一人一人に応じた支援体制の充実
- ◎ 「子ども読書活動推進計画」に基づく各年代に応じた読書に親しむ機会の充実
- ◎ 望ましい読書習慣の確立に資する学校図書館の整備